

令和5年 第8回

# 戸田市教育委員会定例会

令和5年8月17日

戸田市教育委員会

# 第8回教育委員会（定例会）次第

1 開会

2 前回の会議録の承認

3 教育委員提案 別添 資料 1のとおり

4 報告事項 別添 資料 2のとおり

5 議事

ページ

(1) 議案

議案第24号 令和6年度使用小学校教科用図書採択について…………… 1

6 その他

(1) 次回の教育委員会の日程（案）

令和5年9月21日（木）午前9時30分～

(2) その他

7 閉 会

## 令和6年度使用埼玉県第四採択地区小学校用教科用図書選定結果と理由

種目	○書名 ・ 発行者	選定理由
国語	○国語 ・ 光村図書出版	児童の「問い」を引き出す発問や着目すべき言葉、表現が明示されており、児童が見通しをもって学ぶことができるよう工夫されている。また、身に付けた力を他教科等に生かす視点が示されているほか、学んだ国語の力を日常生活や社会生活に生かすことのできるような構成となっている。
書写	○書写 ・ 光村図書出版	「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」の学習過程と学習のポイントも示されていることで、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、日常生活の具体的な場面に結び付けた課題が設けられており、習得した知識・技能を活用する力を育むことのできる構成となっている。
社会	○新編 新しい社会 ・ 東京書籍	「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の問題解決的な学習過程をたどりながら、「主体的・対話的で深い学び」が実現する学習の進め方が示されている。また、社会科の見方・考え方を意識した振り返り活動が設定されており、教科の本質に沿って児童が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。
地図	○楽しく学ぶ 小学生の地図帳 ・ 帝国書院	「広く見わたす地図」や「地図のやくそく」等が掲載されており、発達段階に応じた指導ができるよう工夫されている。また、デジタルコンテンツが適所に設けられており、動画やクイズ、アニメーション等により興味関心を高めたり、理解を深めたりする工夫がされている。
算数	○新編 新しい算数 ・ 東京書籍	問題に対する新たな問いや統合的・発展的な気づきを促す工夫が適所にされており、児童がどのような思考を働かせればよいか、具体的に示されている。デジタルコンテンツも多く、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた支援が充実している。
理科	○新版 たのしい理科 ・ 大日本図書	共通性や多様性に着目するなど「理科の見方」につながる点をわかりやすく示しながら、考察場面や考えをまとめる場面などで対話を重視し、思考力を育む工夫がされている。また、理科の学びの有用性を味わわせ、主体的に学習に取り組むことができる構成となっている。

種目	○書名 ・ 発行者	選定理由
生活	○新編 新しい 生活 ・ 東京書籍	児童が「やってみたい」と思うような明るく楽しい画像や資料が多く、生活科が大切にしている思いや願いをもちやすい紙面であり、遊び方や学び方の例示も多く、質の高い授業づくりがしやすい構成となっている。「いきものずかん」や「かつどうべんりてちょう」等、児童の気付きの質を高める資料も充実している。
音楽	○小学生の音楽 ・ 教育芸術社	「何を学ぶか」「何ができるようになるか」を明確に示し、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる構成になっている。また、既習を生かして学習を積み重ね、児童同士が自身の思いや意図のもと、仲間と協働して音楽を創り上げる活動ができるよう工夫されている。
図画工作	○図画工作 ・ 開隆堂出版	各題材で育てたい資質・能力が「学習のめあて」で明示され、見通しをもって主体的に学ぶことのできる構成となっている。また、SDGsを意識した材料や外国の友達の作品が紹介され、環境や多様性を考慮した内容にもなっている。
家庭	○わたしたちの家庭科 ・ 開隆堂出版	スモールステップで学ぶことのできる学習過程となっており、着実に資質・能力を育成できる工夫がされている。単元導入時の「マイめあて」や単元末の「できたかな」を通して、児童が学習の成果を自己調整しながら主体的に学ぶことのできる構成となっている。
保健	○新・みんなの保健 ・ Gakken	学習を通して、自分の考えをもち、深めることのできる構成となっている。また、学習の進め方を示した3つのピースが示され、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す工夫がされているとともに、学習効果を高めるデジタルコンテンツが豊富に用意されている。
英語	○NEW HORIZON Elementary English Course ・ 東京書籍	各単元のコミュニケーションを行う目的・場面・状況が明確で、自分の考えや気持ちを伝え合う活動を設定しやすい構成になっている。単元の目標に向かって知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力などを働かせる活動へと段階を踏んだ構成となっており、学習内容を着実に身に付けられる工夫がされている。
道徳	○小学道徳 ゆたかな心 ・ 光文書院	物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について深めるために、「考えよう」「まとめよう」「広げよう」の段階を通して、児童が自問自答しながら深く考えられる構成となっている。また、書き込みのページで学びの足あとを残すことができ、児童自身が成長を実感し、新たな課題を見つけることができるように工夫されている。

### 9月教育委員会関係【会議】日程表

日	曜日	内 容		時 間	場 所	主管課
1	金	教育センター研究グループ 夏季全体会	講演：「生成AI時代に求められる真の読解力とは」 講師：新井紀子氏	18:00～19:30	オンライン	教育政策室
		戸田市英語弁論暗唱大会	市英語研究部主催による中学校英語弁論暗唱大会	13:00～17:00	教育センター	教育政策室
2	土					
3	日					
4	月					
5	火					
6	水					
7	木					
8	金					
9	土	英検対策講座	希望者による英検3級受検対策講座	9:00～12:00	戸田市役所	教育政策室
10	日					
11	月					
12	火					
13	水	蕨班英語弁論暗唱大会	市英語研究部主催による中学校英語弁論暗唱大会	13:00～17:00	教育センター	教育政策室
14	木					
15	金					
16	土					
17	日					
18	月					
19	火					
20	水					
21	木					
22	金					
23	土					
24	日					
25	月					
26	火					
27	水					
28	木					
29	金					
30	土					

### 9月教育委員会関係【行事・講座等】日程表

日	曜日		内 容	時 間	場 所	主管課
1	金	赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など	10:30～11:00	あいパル2階和室	生涯学習課
		ととけっこの部屋	親子で一緒にわらべうたで遊び、絵本の読み聞かせを楽しむ	11:00～11:30	中央図書館視聴覚室	生涯学習課
2	土	【市民大学講座】公民館シニア向け講座 世界を知って多文化共生のまちづくり ～中国編～	市の国際交流事業と多文化共生 (1回目:全4回)	13:30～15:00	新曽公民館	生涯学習課
		スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談	9:00～12:00	美笹公民館	生涯学習課
3	日					
4	月	第1回校長会テスト				
5	火	戸東小 修学旅行 ～6日				
		戸東中 社会体験チャレンジ ～7日				
		【市民大学講座】 埼玉大学・戸田市連携講座	「日本のロボット研究・開発・活用の歩み」	14:00～15:30	市役所5階大会議室	生涯学習課
6	水	おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館視聴覚室	生涯学習課
		笹目東小 林間学校 ～8日				
		笹目小 修学旅行 ～7日				
7	木	芦原小 修学旅行 ～8日				
		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	9:30～10:20 10:30～11:20 11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館視聴覚室	生涯学習課
8	金	赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など	10:30～11:00	あいパル2階和室	生涯学習課
9	土	不登校について考える会	戸田型オルタナティブプランの推進に向けた、地域や保護者を対象にしたシンポジウム	10:00～13:00	文化会館	教育政策室
		IT相談(スマホ・パソコン質問コーナー)	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談	13:00～16:00	下戸田公民館	生涯学習課
		子供映画会	「ダンボ」(62分)	10:30～11:45	中央図書館視聴覚室	生涯学習課
		おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館視聴覚室	生涯学習課
		【市民大学講座】公民館シニア向け講座 世界を知って多文化共生のまちづくり ～中国編～	日本とは違う？中国の文化や言語、生活 (2回目:全4回)	13:30～15:00	新曽公民館	生涯学習課
10	日					
11	月	【市民大学講座】 埼玉大学・戸田市連携講座	「植物に含まれる多彩な多糖類」	14:00～15:30	市役所5階大会議室	生涯学習課
12	火	新曽中 体育祭				
13	水	【市民大学講座】公民館シニア向け講座(健康増進コース)「正しい歩き方」で地域をめぐる健康まち歩き講座 ～美笹地区編～	「正しい歩き方」を学び、美笹地区のまち歩きをします。楽しくウォーキングを始めませんか？(1回目:全4回)	10:00～11:30	美笹公民館	生涯学習課
14	木	英語でポップスを歌おう	懐かしのオールディーズを中心に楽しく英語で歌う	14:00～15:30	下戸田公民館	生涯学習課
		戸二小 修学旅行 ～15日				
15	金	美笹中 体育祭				
		赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など。	10:30～11:00	あいパル2階和室	生涯学習課
		【市民大学講座】 埼玉大学・戸田市連携講座	「生物多様性とサクラ草」	14:00～15:30	市役所5階大会議室	生涯学習課
16	土	戸田中・喜沢中 体育祭				

日	曜日		内 容	時 間	場 所	主管課
17	日	かみとだおはなし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなし、おりがみ工作など。	10:30～11:30	あいパル3階 研修室	生涯学習課
		スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談	13:00～16:00	新首公民館	生涯学習課
		パルシアターとかみとだおはなし会	上映作品 「三人の騎士」 3歳児～小学校低学年向けの絵本の読み聞かせ、おはなしなど。	13:30～14:50	あいパル3階 研修室	生涯学習課
18	月					
19	火	戸田中・喜沢中 振替休業				
20	水	おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
		喜沢中 体育祭予備日				
21	木	戸田中 体育祭予備日				
		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	9:30～10:20 10:30～11:20 11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
22	金	みんなでパルるんひろば	前半は絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など。後半は保護者同士の交流や、保健師への相談ができます。	10:30～11:30	あいパル3階 軽体育室	生涯学習課
23	土	おうちで絵本ひろば	図書館司書による絵本の選び方や絵本による子育てについての話 おはなし会ではありません。	10:30～11:00	あいパル2階 和室	生涯学習課
		【託児付き 子育て支援イベント】 絵本でこころもからだも ピタンコ!	前半は、絵本の講座。 後半は、お子様を交えての ワークショップ	10:30～12:00	中央図書館 視聴覚室 託児 は3F講座室	生涯学習課
		【市民大学講座】公民館シニア向け講座 世界を知って多文化共生のまちづくり ～中国編～	中国伝統健康法「太極拳」体験 (3回目:全4回)	13:30～15:00	新首公民館	生涯学習課
		おはなしの部屋	読み聞かせ、昔話などの語り	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
24	日					
25	月					
26	火	美笹中 体育祭予備日				
		絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ・紙芝居等	10:30～11:30	下戸田公民館	生涯学習課
		ストレッチ・リズム体操	ストレッチ・リズム体操で健康の増進を図る	13:30～15:00	下戸田公民館	生涯学習課
27	水	【市民大学講座】 埼玉大学・戸田市連携講座	「憲法のこれから 憲法改正を論じる前に知っておきたいこと」	14:00～15:30	市役所5階 大会議室	生涯学習課
		おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
28	木	託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	9:30～10:20 10:30～11:20 11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
		英語でポップスを歌おう	懐かしのオールディーズを中心に楽しく英語で歌う	14:00～15:30	下戸田公民館	生涯学習課
		新人二市体育大会 ～10/3				
29	金	喜沢小 学校訪問				
		赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など。	10:30～11:00	あいパル2階 和室	生涯学習課
30	土	戸一小 学校公開				
		【市民大学講座】公民館シニア向け講座 世界を知って多文化共生のまちづくり ～中国編～	中国料理をつくる、食べる (4回目:全4回)	10:00～13:00	新首公民館	生涯学習課
		【市民大学講座】公民館シニア向け講座(健康増進コース)「正しい歩き方」で地域をめぐ る健康まち歩き講座 ～美笹地区編～	「正しい歩き方」を学び、美笹地区のまち歩きをします。楽しくウォーキングを始めませんか？(2回目:全4回)	10:00～11:30	美笹公民館	生涯学習課

# 教育委員提案

令和5年第8回教育委員会(定例会)

令和5年8月17日(木)

戸田市役所3階 教育委員室



# 1 教育委員提案

ページ

戸田市教育委員会としての「生成A I」の活用等の検討について（仙波委員）…………… 1  
（教育政策室）

令和5年8月 教育委員提案

# 戸田市教育委員会としての「生成AI」 の利用の検討について

戸田市教育委員会  
教育政策室

# 生成AIをめぐる主な動き

	文部科学省	戸田市首長部局	戸田市教育委員会
4月	学識経験者及び現場教員に対する書面ヒアリングを開始	第1回戸田市デジタルトランスフォーメーション推進本部会議（ChatGPTに関する調査研究チームの発足） 当該チームには、教育政策室長が構成員として参画	教育委員会定例会及び校長会議において生成AIの「相談的活用」について教育長より発言 14～15頁
5月	中央教育審議会デジタル学習基盤特別委員会で生成AIのガイドラインについて検討を開始	第1回ChatGPTに関する調査研究チーム開催（アドバイザーによる基調講演等）	文科省書面ヒアリングへの意見を提出 校務・学習において生成AIの利用が考えられる事例の検討を開始 10～11頁
6月		第2回ChatGPTに関する調査研究チーム開催（活用結果の共有、ワークショップ等）	『「生成AIの学校現場での利用に向けた今後の対応について」（令和5年6月7日付教育長通知）』において、本市の生成AI利用における基本的な方針を市内各学校に周知 4頁
7月	『「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」の作成について（令和5年7月4日付通知）』発出	第3回ChatGPTに関する調査研究チーム（ChatGPTを活用したハッカソン）開催（アイデア出し・プログラム作成・成果発表会等）	『文部科学省作成「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」及びその留意点等の周知について（令和5年7月14日付教育長通知）』において、文科省のガイドラインや夏季休業中の課題に対する児童生徒による生成AIの利用について市内各学校及び保護者に周知 5～6頁
8月			市内各学校の主幹教諭・教務主任を対象に「生成AIの利用に関する研修会」を実施（市の基本方針及び遵守事項等の確認、校務における利用方法の協議） 7頁 2

# 戸田市の教育における生成AI利用に係る基本的な方針

- 従来より「AIでは代替できない能力」と「AIを活用できる能力」の育成を目指している。
- 生成AIを「正しく恐れ、前向きに活用する」ことが必要である。
- 教職員が率先して生成AIを利用し、どのように授業や校務で活用できるのかを主体的に考えていく必要がある。
- 児童生徒の「情報活用能力」や「デジタル・シティズンシップ」育成の観点から、生成AI自体を学ぶ授業や各教科等における教師主体の利用方法の創出が必要である。
- 教職員が現行のGoogleアカウントを用いて利用するものとしては「Bard」を対象とする。
- 学校現場において、生成AIの利用規約上の対象年齢を下回る形で、児童生徒に直接利用させないこと。

「生成AIの学校現場での利用に向けた今後の対応について（戸教政第847号令和5年6月7日付教育長通知）」から抜粋 3

# 生成AIの学校現場での利用に向けた今後の対応について

R5.6.7付  
教育長通知

戸田市立各小・中学校長 様

戸田市教育委員会教育長 戸ヶ崎 勤

## 生成AIの学校現場での利用に向けた今後の対応について（通知）

別添写しのとおり、教育局市町村支援部義務教育指導課長から周知依頼がありました。つきましては、別添事務連絡及び別紙「生成AI（Chat GPT）の学校現場での利用に関する今後の対応」（文部科学省作成）を踏まえ、下記について、貴職下関係職員へ周知願います。

### 記

#### 1 本市の生成AI 利用における基本方針について

本市においては、従来より「AIでは代替できない能力」と「AIを活用できる能力」の育成を目指している。

学校現場においては、先端技術を積極的に活用し、教育の質の向上や業務の効率化にこれまでも取り組んでいただいているところ、教職員による生成AIの利用に際しては、生成AIを「正しく恐れ、前向きに活用する」ことが必要であり、教職員が率先して生成AIを利用し、どのように授業や校務で活用できるのかを主体的に考えていく必要がある。また、児童生徒の「情報活用能力」や「デジタル・シティズンシップ」育成の観点から、生成AI自体を学ぶ授業や各教科等における教師主体の利用方法の創出が必要である。

#### 2 利用対象の生成AIについて

本市においては、現行のGoogleアカウントを用いて利用するものとしては「Bard」を対象とする。

#### 3 留意事項

- 学校現場において、生成AIの利用規約上の対象年齢を下回る形で、児童生徒に直接利用させないこと。なお、「Bard」は18歳以上のみ利用可とされている。
- 授業で教師が利用する生成AIによって生成される情報は、正確性や信頼性に課題があり、必ずしも正しいとは限らないことを児童生徒と十分確認し、メディアリテラシー（吟味的・批判的思考）の観点を取り入れること。なお、「Bard」は令和5年6月1日時点において、試験運転中である。
- 情報漏洩の可能性があることから、氏名、成績等の個人情報や機密性のある情報などについては厳に入力しないこと。
- 有害なコンテンツが含まれている可能性や著作権侵害の可能性があることから、児童生徒に提示する際には事前に十分な検証を図ること。
- その他、令和5年4月6日付け戸教政第110号「学校情報セキュリティの確保に向けた遵守事項について（通知）」のもと、適切に対応すること。

#### 4 その他

- 夏前を目途に、文部科学省より生成AIの学校現場での利用に関するガイドラインが策定公表される予定である。
- 上記ガイドラインの公表後、本市においても内容を検討の上、改めて利活用ポリシーを周知する予定である。

下線は、原典に適宜追加したもの 4

# 夏季休業中の課題に対する児童生徒による生成AIの利用について

R5.7.10  
校長会議資料

## 【前提として】

- ・教育活動の目的を達成する上で、生成AIの利用が効果的か否かで利用の適否を判断することが重要である。
- ・本市としては、生成AIの利用規約上の対象年齢を下回る児童生徒に直接的な利用をさせないこととしている。
- ・夏季休業期間などでは、児童生徒が家庭で保護者のアカウントを使って生成AIを二次利用することや、中学生が保護者の同意を得た上で自ら利用することも想定される。

児童生徒による生成AIの利用に当たっては、以下のような適切ではない利用例も考えられる。

各種コンクールの作品（読書感想文・作文・詩・俳句、写真、絵等）やレポートなど児童生徒の感性や独創性において創作するものについて、生成AI等によって生成されたものを自己の成果物として応募・提出すること。

知識・技能の定着を図る問題（ドリル等）や思考・判断・表現の過程に着目した課題（自由研究等）において、生成AIによって生成されたものを自己の成果物として提出すること。

以下のような適切な利用例も考えられる。

課題研究等の過程で、自らが作成したレポートの素案に足りない観点などを補充するために生成AIを活用する。その際、情報の真偽を確かめたり、AIとのやりとりの過程を参考資料として添付させることや、引用・参考文献などを明示させることも一案である。

自らの作った文章を基に生成AIに修正させたものを「たたき台」として、何度も自分で推敲し、よりよい自分らしい文章として整えた過程・結果を文書作成ソフトの校閲機能を使って提出させることも考えられる。

夏季休業中の課題の意義について児童生徒に事前指導をする。

- ・児童生徒に課題を行う目的を十分に説明する。
- ・課題を通してどのような力が身につくか児童生徒とともに考える。等

今後の学校教育における生成AIの利用全般に係る留意事項については、文科省のガイドラインを踏まえ、追って通知予定。

# 児童生徒の生成AIの利用について（保護者への周知）

R5.7.14付  
教育長通知（一部）

戸田市立小・中学校 保護者 様

戸田市教育委員会教育長 戸ヶ崎 勤

児童生徒による生成AIの利用について（お願い）

日ごろから本市の教育活動に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、新聞・報道等でも話題になっている生成AIの利用について、文部科学省からガイドラインが示されましたので、保護者の皆様にも情報提供をいたします。

本市では、これまで基礎学力の定着はもちろんのこと、「AIでは代替できない能力」や「AIを活用できる能力」の育成も目指しており、児童生徒が社会で生き抜く力を育む取組を推進しております。

生成AIの活用につきましては、有用な活用の可能性が大いにある一方、現時点においては適切な活用場面の検証が不十分であり、利用に際しては一定の注意を払う必要があります。

これから夏季休業に入り、御家庭の御判断で利用する場面も考えられますことから、この度の文部科学省の通知に基づき、下記のとおり御留意いただくとともに、夏季休業中の宿題の意味などを改めてお子様と話し合う機会としていただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 文部科学省「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」の作成について（通知）

URL: [https://www.mext.go.jp/content/20230704-mxt\\_shuukyo02-000003278\\_003.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230704-mxt_shuukyo02-000003278_003.pdf)

- 2 戸田市の学校教育活動における活用の方針（夏季休業前）

・市が採用しているGoogleアカウントに紐付く「Google Bard」を試験的に利用

Google Bardは利用規約上、18歳以上が対象のため児童生徒は利用しない。教師が生成AIの仕組みやどのように学びに生かしていくかという視点の授業等で利用。

- 3 夏季休業中の課題に対する児童生徒による生成AIの利用について

(1) 前提として

・活動の目的を達成する上で、生成AIの利用が効果的か否かで利用の適否を判断することが重要である。

・家庭で児童生徒が保護者のIDを使って生成AIを利用することや、中学生が保護者の同意を得た上で自ら利用することも想定される。

(2) 適切でないとされる例

・各種コンクールの作品（読書感想文・作文・詩・俳句、写真、絵等）やレポートなど（児童生徒の感性や独創性において創作するものなど）について、最初から安易に使わせることや、生成AI等によって生成されたものを自己の成果物として応募・提出すること。

・知識・技能の定着を図る問題（ドリル等）や思考・判断・表現の過程に着目した課題（自由研究等）において、生成AIによって生成されたものを自己の成果物として提出すること。

(3) 適切とされる例

・課題研究等で、自らが作成したレポート案に足りない点などを補充するために生成AIを活用すること。その際、情報の真偽を確かめつつ、AIとのやりとりの過程を参考資料として添付したりすることや、引用・参考文献などを明示させたりすること。

・自らの作った文章を基に生成AIに修正させたものを「たたき台」として、何度も自分で推敲し、よりよい自分らしい文章として整えた過程・結果をワープロソフトの校閲機能を使って提出すること。

- 4 各学校での指導について

各学校では、夏季休業中の課題の意義について児童生徒に以下のような事前指導を行っております。

・児童生徒に課題を行う目的を十分に説明する。

・課題を通してどのような力が身につくか児童生徒とともに考える。等

- 5 その他

戸田市教育委員会では今後も国や県の動向を注視し、市としてのガイドラインを策定していく予定です。

下線は、原典に適宜追加したもの 6

# 生成AIの利用に関する市教委主催の研修会

8月1日(火)に、**市内小中学校主幹教諭・教務主任を対象とした「生成AIの利用に関する研修会」を開催**した。

はじめに、**生成AIの利用における遵守事項**について、学務課より生成AI利用の留意点について講義を行った。続いて、教育政策室より**生成AIの校務での活用について講義と演習**を行った。

続いて、**実際の活用場面を想定したプロンプトの入力**について確認し、最後に**校務での活用場面を協議**した。主な事例は以下のとおり。

## 主な利用事例

各種報告書のたたき台作成と各種報告書や通知の要約

新規の提案文書のたたき台作成

時間割作成、授業時数の調整等の計算補助

アンケートや学校評価等の整理、考察、改善策のたたき台作成

初任者研修や校内研修の進め方のたたき台作成、事例研修等での事例案のたたき台作成

教職員による作成文書の校正・校閲

朝会等の講話及び、児童による送辞・答辞、あいさつ文のたたき台作成

研究発表や周年行事の事務作業補助(研究紀要の挨拶文・研究概要、謝辞等)

保護者への通知文書の作成、学校だより等の巻頭言、SNS等に掲載する文章のたたき台作成

民間業者とのメールのやり取り、メールの定型文を作成、指導者や来賓への依頼文や謝辞のたたき台作成





# 授業における生成AIの利用例

本年7月、**市内小学校の学校訪問における研究授業**、6年生音楽科「旋律の特徴を生かして表現しよう」において、**自動作曲AIアプリ「CREEVO」**( )を児童が使って音楽づくりを行い、**音色や旋律、リズムや速さなど音楽を形作っている要素を組み合わせ、試行錯誤しながらグループで曲想の面白さを共有**し合った。

( ) 歌詞を入力すると自動的に旋律や伴奏を生成できるAI作曲アプリ。教育目的で利用可能であり、本時では、作曲に必要な条件を人間が決める「マニュアルモード」を使用した。

全ての活動をAIに委ねてしまうのでは自分が作曲したという意識や達成感を感じることが出来ないため、**演奏技能をAIに補完してもらいながら、いかに自分の思いや意図を音楽表現に反映させていくか、という学習プロセスに焦点**を当て、主体的・対話的で深い学びを実現する教師の明確な意図が感じられた。

## 【授業中の様子】



# 戸田市の教育における生成AI利用の段階（案）

## 【フェーズ1：主として校務での利用】

- ・管理職による積極的な試行
- ・校内研修等における生成AIの体験
- ・校務の様々な場面における利用（例として参考資料 参照）
- ・上記による生成AIのメリット・デメリットの理解（「腹落ち」）
- ・学習のどのような場面で利用することが効果的かについて検討（例として参考資料 参照）

いずれの段階においても、正確性や信頼性の担保、個人情報保護や機密保持、有害コンテンツや著作権侵害の可能性といった論点に十分留意しつつ、検証を行う。

## 【フェーズ2：校務・学習双方での利用】

- ・学習における利用に当たっての留意事項の検討
- ・学習における教師が主体となった利用
- ・学習における（年齢制限を下回らない形での）子供が主体となった利用
- ・上記を踏まえた成果・課題の言語化と校内での共有

# 生成AIの校務での利用例

文部科学省のガイドラインでは、校務での利用場面を次の4つに分類している。  
児童生徒の指導にかかわる業務の支援、学校の運営に関わる業務の支援、学校行事・部活動への支援、外部対応への支援  
具体例として参考資料 参照。生成AIはあくまで「たたき台」としての利用であり、**最後は教職員自らがチェックし、推敲・完成させることが必要。**

利用場面	主な利用事例
	各種報告書のたたき台作成と各種報告書や通知の要約
	新規の提案文書のたたき台作成
	時間割作成、授業時数の調整等の計算補助
	アンケートや学校評価等の整理、考察、改善策のたたき台作成
	初任者研修や校内研修の進め方のたたき台作成、事例研修等での事例案のたたき台作成
	教職員による作成文書の校正・校閲
	朝会等の講話及び、児童による送辞・答辞、あいさつ文のたたき台作成
	研究発表や周年行事の事務作業補助（研究紀要の挨拶文・研究概要、謝辞等）
	保護者への通知文書の作成、学校だより等の巻頭言、SNS等に掲載する文章のたたき台作成
	民間業者とのメールのやり取り、メールの定型文を作成、指導者や来賓への依頼文や謝辞のたたき台作成

# 生成AIの学習での利用に当たっての留意事項（たたき台）

前提として、子供達の資質・能力を育成する上で、生成AIの利用が効果的か否かで利用の適否を判断することが重要。例えば以下のような視点が考えられ、今後、学校での実践も踏まえながら更に検討を深めていく。

## 【育成したい3つの資質・能力との関係】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<p>&lt; 視点の例 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・未知よりも既習事項について問い、<b>ファクトチェック的に知識及び技能の定着を図る観点</b>から生成AIを利用することは考えられるか。</li><li>・ゼロから生成AIに頼る、すなわち思考力・判断力・表現力を低下させるような活用よりも、<b>子供達自身が思考・判断・表現したものについて生成AIからフィードバックをもらうことで、試行錯誤や改善を繰り返せるような活用</b>は考えられるか。</li></ul> <p>生成AIによる回答を「鵜呑み」にするのではなく、<b>批判的・吟味的に解釈できるような資質・能力の育成</b>が求められる。</p>		

これらを育成するために...

## 【主体的・対話的で深い学びとの関係】

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
<p>&lt; 視点の例 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・例えば、学ぶことの<b>興味や関心を高める導入の場面</b>や、自己の<b>学習活動を振り返る段階</b>での生成AIの活用は考えられるか。</li><li>・生成AIとの「対話」を繰り返しながら、<b>多角的な視点で自己の考えを広げ深める</b>ことは考えられるか。</li><li>・各教科等の特質に応じた「<b>見方・考え方</b>」が働くような生成AIの活用は考えられるか。特に、本市が重視するPBL（Project-Based Learning）等の<b>問題解決的学習</b>における<b>相談的活用</b>は考えられるか。</li></ul>		

## 今後に向けて

今後、本日お示しした内容を基に、総合教育会議でも議論しつつ、**戸田市の教育における生成AIの利用に係るガイドライン**を策定する予定。

いずれにしても、生成AIの利用という「手段」が「目的」化することなく、**学校における働き方改革や子供達の学びの充実**につながるよう、**学校現場の「腹落ち」**を図りつつ、着実に取組を進めていきたい。

参 考 資 料  
( 過 去 の 会 議 等 で の 発 言 )

# 令和5年第4回戸田市教育委員会定例会における教育長発言

戸田市の教育改革も9年目を向かえます。この9年間貫いてきた4つの教育改革のコンセプトの一つが、「AIでは代替できない能力やAIを活用できる能力」の育成です。改革開始時の平成27年度のこの定例教育委員会の冒頭で、次のようなあいさつをしました。

「子供たちの65%は将来、今は存在していない職業に就くとの予測や、今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」などの予測があります。2045年には人工知能が人類を越える『シンギュラリティ』に到達するという指摘もあります。また、10～20年以内に日本で働く人の仕事の49%はAIやロボットで代替できるようになる、という分析研究も発表されました。現在、OECDでは、『Education2030』を推進しています。その中で、様々な『学びの改革』が議論されており、いわゆる『仕事ができる有能な人』がもっている能力に注目が集まっています。これは、学校の勉強ができる人とはイコールではなく、『非認知スキル』や『ソフトスキル』の高い人です。……。」と、当時は、AIでは代替できない能力に主眼がりましたが、最近では、AIを活用できる能力に視線が向いてきたように思います。

今春の大学入学式式辞の中にも「レポート作成に際してAIを使用することなど、ゆめゆめ考えないように」「簡単に得たものは、またたく間に失われる」等「ChatGPT」など生成型AIに関する話題が多くあったようです。「ChatGPT」をめぐっては、ビジネスの効率化が期待される一方、読書感想文などが瞬時に作成できることから、使い方によっては子供たちの学びへの影響を懸念する声があがっています。文部科学省も教育現場での取扱いを示すガイドラインの検討を始めたようです。

昨日、戸田市においても調査研究チームを発足するとの報道がありましたが、すでに本市教育委員会では日常遣いしている職員も少なくありませんし、かく言う私もよく使っています。教育委員の皆様にも体験していただいた感想を後ほど窺えればと存じます。

先日の校長会でも私から「ChatGPT、Microsoft Bing、Google Bard等のAI活用体験を願いたい。答えを検索する利用ではなく、子供の新たな問いを立てることや、自分で思いつかないヒントをもらうこと、球技の壁打ち相手としての『相談的活用』がよいのではないかと考えている」と述べました。

また、今月の着任式では、産業界の方々から「子供たちは、デジタルを積極的に活用する家庭から、アナログだらけの昭和と変わらない学校へと毎日タイムスリップしている。」と揶揄されることをどう思うか、また、私のマインドセットである「学校という学びの場を子供たちが未来を感じられる空間にしてほしい」ということをお願いしました。

これまで、新しいことがあると危ないから使わせないという管理の側面を強化してきたかと思えます。もちろん、時代背景もありますが、そのようなことを続けてきた結果、学校は時代に取り残され、ガラパゴス化したとも言えるのではないかと思います。体験してみなければ理解の解像度は上がりません。危険な側面があるのであれば、安全な環境を用意し、積極的に使って理解を深め、次のステップに進むことが重要だと思います。大切なことは、使うことが目的ではなく、自問自答できる内なる教師（メタ認知）を育てることや、AI時代における教育観というものをしっかり構築していくことだろうと思えます。

小中学生の読書感想文などは、AIによる「不正」を招きやすいのは確かだと思います。しかし、問題は、読書感想文などという教育活動が、簡単にAIに取って変わられるような「低付加価値」であることに教育関係者が気付かないことだと思っています。いま改めてアインシュタインの「重要なことは問うのをやめないことだ」などという言葉の重みを噛みしめたいものです。

# 令和5年第7回戸田市教育委員会定例会における教育長発言（未定稿）

4月のあいさつでも生成AIの話を上りましたが、今月4日に文部科学省が「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を公表しました。また、先月には、生成AIを積極的に活用した授業を海外で参観しました。本市教育委員会では、6月7日付けで学校長宛てに「生成AIの学校現場での利用に向けた今後の対応について（通知）」を発出しました。その続報を7月14日付けで校長宛てに発出するとともに、7月18日付けで保護者に向けても通知しました。

これまで人間は創造的な活動ができるがAIにはできないと考えられていました。それが生成AIの登場によって、「創造性とは何か」を改めて考える機会になった気がします。人間の場合でも、創造性にはコピーしたものを調整するような能力も多分に含まれているのではないかと。そのレベルなら生成AIでもできている。本当の意味の創造性とは何なのかを人間が突き付けられる段階に来ているのではないかと思います。

私なりに、createとgenerateの違いについて悶々と反芻しています。両者は、生み出すことにおいては同じですが、createはこれまでにない新しいものを生み出し、generateは、自動や手順通りに何かを生み出す、まさに「生成」といった意味があります。

生成AIは、あらかじめ膨大な量の情報から深層学習によって構築した大規模言語モデルであるLLM（Large Language Models）に基づき、ある単語や文章の次に来る単語や文章を推測し、「統計的にそれらしい応答」を生成するものです。指示文（プロンプト）の工夫で、より確度の高い結果が得られるものの、もっともらしいウソと言われるハルシネーション（Hallucination）や、事実と全く異なる回答が出力されることもあります。今後は、情報の真偽を確かめること（ファクトチェック）の習慣付けも含め、情報活用能力を育む教育活動を一層充実させ、AI時代に必要な資質・能力の向上を図ることが急務です。

AIは言葉をコピーして選んでつなぎ合わせているだけという見方もできるわけですが、考えてみれば人の日常的な会話も似たようなものではないかと思っています。大きく違うのは、人間が言語を習得する際の「記号接地」（言葉と身体感覚や経験とをつなげること）されていないことです。

「Steal with pride」。先日ある外資系企業の幹部から聞いた言葉です。その言葉を一つの理念にしているとのこと。日本語で言うところの「徹底的にパクる（TTP）」が該当するかも知れません。Stealにしても、パクるにしても、ネガティブなイメージがありますが、「Steal with pride」にはポジティブな意味が籠められています。守破離という言葉のように、日本では、先生や師匠から基本の「型」を教してもらい、その「型」を「真似る」ことから「学び」は始まると言われてきました。職人の世界でも、「師から技を盗め」といわれず。これは師の技をコピーして「真似る」ことに他なりません。模倣（コピー）も極まれば独創を生むのだらうと思います。

先日、ChatGPTを開発したサム・アルトマン最高経営責任者（CEO）は、「強力なツールには大きな可能性もあれば、間違いなく大きな課題もある」と述べていました。「正しく恐れ、前向きに」活用しながら、コピー上手になるスキルも大切なのかも知れません。



# 参 考 資 料

## (「Bard」による校務利用でのプロンプト例)

あくまでも例であり、他の利用例を否定するものではない。  
ブレインストーミングの趣旨で掲載しているものであり、内容については今後更に精査を要する。

## 場面（保護者向けのイベント周知）：プロンプト

あなたは学校の管理職です。以下の条件に従い、以下の内容について保護者向けにイベントを周知するメールの文面を作成してください。

### #条件

- ・なるべく分かりやすい言葉で
- ・400字以内
- ・「保護者の皆様へ」から始める

### #内容

- ・7月23日10～12時に戸田市役所が開催するかけっこ教室が \_\_\_\_\_ 小学校で開催される。
- ・対象：小学校3年生から6年生まで
- ・定員：50名（先着順）
- ・申込：必要、7月20日まで、 \_\_\_\_\_ （メールアドレス）まで
- ・問い合わせ先： \_\_\_\_\_

下線箇所は、記載を変えることで他の内容でも利用可能

## 場面（保護者向けのイベント周知）：生成結果

✦ 保護者の皆様へ

このたび、戸田市役所主催のかけっこ教室が、7月23日（土）10時から12時まで、当校体育館にて開催されます。

陸上競技の選手による専門的な指導を受けることができ、実際にレースに参加して自分の走力を向上させることができます。

対象は小学校3年生から6年生までの児童で、定員は50名（先着順）です。

---

参加費は無料です。

申込は7月20日（木）までに、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

メールアドレス：[メールアドレス]

問い合わせ先：

[電話番号]

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

よろしくお願いいたします。

敬具

## 場面（学校Facebookの文面）：プロンプト

あなたは学校の管理職です。以下の条件に従い、以下の内容について対外的に情報発信するFacebookの文面を作成してください。

### #条件

- ・なるべく分かりやすい言葉で
- ・600字以内
- ・簡潔な文で構成する
- ・ですます調で
- ・最初に【】内に内容を端的に表すキャッチーなタイトルを入れる

### #内容

- ・内容：アクティブ・ラーニングに関する校内研修を開催した
- ・日時：7月24日
- ・形式：オンライン
- ・アピールポイント：最先端のPBLをサポートする民間企業の講師がグループワークも入れながら支援
- ・学校としての学び：多くの教職員から、今後のPBLの実践に向けての気付きや活用できるツールがあったとの感謝があった

下線箇所は、記載を変えることで他の内容でも利用可能

## 場面（学校Facebookの文面）：生成結果

### 【アクティブ・ラーニングに関する校内研修を開催しました】

本校では、7月24日にアクティブ・ラーニングに関する校内研修を開催しました。研修は、最先端のPBLをサポートする民間企業の講師をお招きし、オンライン形式で実施しました。

研修では、アクティブ・ラーニングの概要や、PBLの進め方、効果的な授業づくりのヒントなどについて講義がありました。また、グループワークも行われ、教職員は実際にアクティブ・ラーニングを体験しました。

研修に参加した教職員からは、「アクティブ・ラーニングについて理解を深めることができ、今後の授業づくりに役立つと思った」「PBLの進め方について具体的なイメージがわき、実際に授業で試してみたいと思った」などの感想がありました。

本校では、今後もアクティブ・ラーニングを推進し、生徒が主体的に学ぶことができる教育環境を整えていきます。

なお、研修の様子は、本校のホームページでご覧いただけます。

ご興味のある方は、ぜひご覧ください。

#アクティブラーニング #PBL #授業改善 #教育改革

## 場面（不審者情報の保護者周知）：プロンプト

あなたは学校の管理職です。以下の条件に従い、以下の内容について保護者向けに周知するメールの文面を作成してください。

### #条件

- ・なるべく分かりやすい言葉で
- ・800字以内
- ・「保護者の皆様へ」から始める
- ・簡潔な文で構成する
- ・「          小学校」で終わる
- ・ですます調で

### #内容

- ・情報元：蕨警察署
- ・内容：不審者の発見情報
- ・日時：7月24日15時頃
- ・事案内容：下校中の児童が男に「君だれ」と声を掛けられた
- ・相手の特徴：50歳位、白髪、170センチメートル、中肉
- ・保護者への依頼内容：学級でも登下校の指導をするが、少しでもこわいと思ったら、大きな声で助けを求めたり、防犯ブザーを鳴らしたり、110番の家に助けを求めるなどして、すぐに逃げるよう指導する

下線箇所は、記載を変えることで他の内容でも利用可能

## 場面（不審者情報の保護者周知）：生成結果

◆ 保護者の皆様へ

蕨警察署より、下記の不審者情報が届きました。

- 日時：7月24日15時頃
- 事案内容：下校中の児童が男に「君だれ」と声を掛けられた
- 相手の特徴：50歳位、白髪、170センチメートル、中肉

このような不審者を見かけた場合には、すぐに警察に通報してください。また、子どもたちに対しても、不審者から声をかけられたら、すぐに逃げ、大きな声で助けを求めるよう指導してください。

学校でも、登下校時の安全指導を強化いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

●●小学校 校長

## 場面（災害情報の保護者周知）：プロンプト

あなたは学校の管理職です。以下の条件に従い、以下の内容について保護者向けに周知するメールの文面を作成してください。

### #条件

- ・なるべく分かりやすい言葉で
- ・400字以内
- ・「保護者の皆様へ」から始める
- ・簡潔な文で構成する
- ・「          小学校」で終わる
- ・ですます調で


### #内容

- ・案件：自然災害（台風）
- ・警報の有無及び発令日時：暴風警報、7月24日15時頃発令
- ・登下校時間の変更：下校時間を早めて13時に変更
- ・保護者への依頼内容：家庭でも不要不急の外出を控える
- ・給食の提供有無：通常通り提供

下線箇所は、記載を変えることで他の内容でも利用可能



## 場面（災害情報の保護者周知）：生成結果

 保護者の皆様へ

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本日、7月24日15時頃に暴風警報が発令されました。それに伴い、下校時間を早めて13時に変更いたします。

台風の接近に伴い、風が強くなると予想されます。そのため、下校時の安全確保のため、下校時間を早めて13時といたします。

また、家庭でも不要不急の外出を控えてください。

ご理解の程、よろしくお願いいたします。

### ●●小学校

なお、下校時刻の変更に伴い、給食は通常通り提供いたします。

ご理解の程、よろしくお願いいたします。

また、台風の状況によっては、学校を臨時休校する場合があります。その際は、ホームページやメールで連絡いたします。

## 場面（保護者への協力依頼）：プロンプト

あなたは学校の管理職です。以下の条件に従い、以下の内容について保護者向けに希望者の募集を求めるメールの文面を作成してください。

### #条件

- ・なるべく分かりやすい言葉で
- ・600字以内
- ・「保護者の皆様へ」から始める

### #内容

- ・7月28日2校時の「まちたんけん」の引率
- ・対象：小学校3年生から6年生までの保護者又は祖父母など
- ・定員：20名
- ・登録：必要、7月20日まで、（メールアドレス）まで
- ・問い合わせ先：教頭
- ・その他：集合場所は別途連絡

下線箇所は、記載を変えることで他の内容でも利用可能

# 場面（保護者への協力依頼）：生成結果

✦ 保護者の皆様へ

2023年7月28日（木）の2校時に、小学校3年生から6年生までの児童を対象に「まちたんけん」を実施いたします。

まちたんけんとは、児童が町を歩いて、町の様子や歴史、文化などを学ぶ活動です。今回のまちたんけんでは、町役場、図書館、博物館などを訪問し、町の役割や役所の仕事、図書館の役割、博物館の役割などを学びます。

まちたんけんの引率を希望される保護者の方、祖父母の方を募集いたします。定員は20名です。

参加を希望される方は、7月20日（水）までに、次のメールアドレスにご連絡ください。

メールアドレス：[メールアドレス]

件名：まちたんけん引率希望

本文：氏名、住所、電話番号、子供の学年

お問い合わせ先：教頭

電話番号：[電話番号]

集合場所は別途ご連絡いたします。

多くのご参加をお待ちしております。

敬具

## 場面（校内研修の講師への謝辞）：プロンプト

あなたは学校の管理職です。以下の条件に従い、以下の内容について研修会の講師向けの謝辞の文面を作成してください。

### #条件

- ・なるべく分かりやすい言葉で
- ・「（講師名）様」で始める
- ・300字以内

### #内容

- ・本日の教職員研修「非同期の学び」の講師
- ・（講師名）：山田一郎様
- ・アピールポイント：産業界の第一線での経験を基に最先端の知見と実践を提供
- ・学校としての決意：今回の学びを今後の授業実践に生かす

下線箇所は、記載を変えることで他の内容でも利用可能

## 場面（校内研修の講師への謝辞）：生成結果



山田一郎様

本日は、教職員研修「非同期の学び」の講師を務めていただき、誠にありがとうございました。

山田様は、産業界の第一線でご活躍されている方であり、その経験に基づいた貴重なご講演をいただきました。非同期の学びのメリットやデメリット、効果的な導入方法などについて、具体的な事例を交えて解説していただいたことで、私たちは非同期の学びの可能性をより深く理解することができました。

今回の研修で学んだことを、今後の授業実践に生かしていくことで、生徒一人ひとりの学びをさらに深めていきたいと思えます。

本当にありがとうございました。

# 参 考 資 料

## ( 生成AIを利用した授業等デザインの例 )

あくまでも例であり、他の利用例を否定するものではない。  
ブレインストーミングの趣旨で掲載しているものであり、内容については今後更に精査を要する。

# 生成AIを利用した授業等デザインの例について

生成AIの答えを鵜呑みにする、すなわちAIに代替されるような学びをするのではなく、AIの答えをスタートラインとしてより良い解決策を考える、すなわちAIを利用できる資質・能力を育成することを目指すべき。  
 生成AIを授業で利用することは目的ではなく手段である。このため、「生成AIを使うことによって、他の手段と比較して、児童生徒に身に付けて欲しい資質・能力の向上につながるのか」について、教師自身が内省を繰り返すことが必要。

教科等	具体例
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の前に質問を受け付けて、生成AIからの回答を授業に生かす</li> <li>・生成AIを活用したフィードバック付きの問題を配信、実施。例：児童生徒に英語の音声聞かせて、生成AIに入力してもらい、生成AIにフィードバックをしてもらう。</li> <li>・指導書等には掲載されていない内容について問う。特に、児童生徒に手を動かして実験させるような体験的な教材は少ないため、授業アイデアの創出が期待できる。</li> </ul>
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文の要約や感想文を生成し、その内容や妥当性をグループで検討・推敲してよりよいものをつくる。400文字で生成したものをさらに削って200文字にまとめる、物語の魅力を伝えるキャッチフレーズを10個生成して、自分が選んだものとその理由を伝え合う</li> <li>・【詩を作る】「○○の様子を表す言葉を教えて」 できた表現を使った詩を作成する。「○○法を使った詩を作って」 さらに詩を推敲する</li> <li>・「悲しい気持ちを表す行動描写を教えて」「悲しい気持ちを表す情景描写を教えて」 気付いたことや考えたことをまとめ、心情を表す表現について理解を深める</li> <li>・児童生徒にテーマを与えて短い作文を書かせて提出させる（ ） ChatGPTにも同じテーマで作文を書かせる（ ） を並べて提示して、どれがChatGPTが書いた作文か考えさせる。同様に、ChatGPTにも の代表と の文章を比較させ分析させる。</li> </ul>
算数・数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の2点目に関連して、例えば以下。</li> <li>Q 私は数学の教師です。生徒に球の表面積を体感させたい。良い実験方法を複数提案してください。</li> <li>A 生徒に球の表面積を体感させるために、以下のような実験方法を提案します。</li> <li>紙や布で球を作る 生徒たちに、紙や布を使って球を作ってもらいます。作った球の表面積を計算することで、球の表面積を求める公式や球の特徴について理解を深めることができます。また、球を作る過程で、球の対称性や円形の性質についても学ぶことができます。</li> <li>鉄球を使う 小さな鉄球を使って、球の表面積を体感する実験です。生徒たちに、鉄球を持って触れたり、手で転がしたりすることで、球の表面積を理解することができます。また、鉄球を網の中に入れることで、球の表面積と体積の関係についても学ぶことができます。</li> <li>3Dプリンターを使う 3Dプリンターを使って、球を作ります。生徒たちがデザインした球を3Dプリンターで出力し、表面積を計算することで、球の表面積を理解することができます。また、3Dプリンターを使うことで、球の内部構造や表面の模様、色など、球の様々な特徴を探求することができます。</li> <li>これらの実験方法を通して、生徒たちは球の表面積を直感的に理解し、数学に興味を持つことができるでしょう。</li> </ul>

# 生成AIを利用した授業等デザインの例について

生成AIの答えを鵜呑みにする、すなわちAIに代替されるような学びをするのではなく、AIの答えをスタートラインとしてより良い解決策を考える、すなわちAIを利用できる資質・能力を育成することを目指すべき。

生成AIを授業で利用することは目的ではなく手段である。このため、「生成AIを使うことによって、他の手段と比較して、児童生徒に身に付けて欲しい資質・能力の向上につながるのか」について、教師自身が内省を繰り返すことが必要。

教科等	具体例
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小6：【明治の国づくりを進めた人々】 明治維新では、誰がどのような世の中をつくらうとしたか教えて！」「現代にも大きく影響を与えた人は？」「どのようなことをしたの？」「どんな影響があったのかメリット・デメリット教えて！」 自分の考えをまとめる。</li> <li>・小5：【自然災害とわたしたちの暮らし】「地震に対する対策を教えて！」「国や市がやってくれるものを教えて！（焦点化）」「世界で地震が多い国を教えて！」「海外の地震対策を教えて！」日本と海外の対策を比較し、気付いたことをまとめる。</li> <li>・概念や周辺知識を確認するためのクイズや問いを立てる遊び。例えば以下。 「徳川慶喜」と回答するための質問を考えてみよう！と児童生徒にどんな質問をしたか、確認し、キーワードを抽出、共有する。（適切な語句、語彙が必要であること、情報が正しいかどうかを確認することの大切さを認識させる。）</li> <li>・歴史人物が行った施策に対する、市民の考えを生成AIに表現させ、その表現に対する考察を根拠を示しながらする。 (例) 豊臣秀吉の太閤検地・刀狩り時の民の心情 時代背景、歴史的価値の認識を深める</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説を検証するための実験方法を質問「植物が二酸化炭素を放出しているかどうかを検証する方法を5つ出して」その中からグループで1つ選び、手順を考え、実験する</li> <li>・実験結果を整理し入力、考察を求める。その回答を実験前の予想や仮説と比較する。予想・仮説通りであれば、結論としてまとめ、予想・仮説との乖離があるのであれば、その原因について追究する。（都度生成AIと対話）</li> <li>・実験観察の手法を生成AIに考えさせる。生成AIが提案する実験・観察の手法に対する考察をする。 (例) 発芽には、肥料が必要か？ 生成AIが提案する内容の検証を通して、論理的思考を高める。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小5：【Welcome to Japan】「外国人から見て、日本の魅力って何か教えて！」ざっくり観光や買い物、伝統文化やポップカルチャーなど多種多様なものがでてる。「外国で人気の伝統文化（ざっくりでできたものから選ぶ）を教えて！」「どうして人気なのか教えて」紹介する文章づくりに活用する。+ 実際にALTに伝える活動の際、「英語で伝えるときに気をつけることを教えて！」と表現の工夫など担任教師が指導しにくい部分も調べてみる。</li> <li>・振り返りをChatGPTに入力 他教科でも適用可能 まず、よかった点を入力 肯定的なフィードバックをもらう。次に、課題点を伝え、解決策をもらう。最後に、次時へ頑張りたいことを入力する。テキストは振り返り履歴として残るが、教師も確認できるように工夫が必要。</li> </ul>



# 生成AIを利用した授業等デザインの例について

生成AIの答えを鵜呑みにする、すなわちAIに代替されるような学びをするのではなく、AIの答えをスタートラインとしてより良い解決策を考える、すなわちAIを利用できる資質・能力を育成することを目指すべき。

生成AIを授業で利用することは目的ではなく手段である。このため、「生成AIを使うことによって、他の手段と比較して、児童生徒に身に付けて欲しい資質・能力の向上につながるのか」について、教師自身が内省を繰り返すことが必要。

教科等	具体例
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が作成したまとまりのある文章をChatGPTを用いて添削する。添削した文章を目的や場面、状況に応じて、語彙や表現、時制等が伝えたい内容に即しているか推敲する。必要に応じて教師が助言する。このようなやり取りを事前に全体指導し、目的、場面、状況に沿ったまとまりのある文章の意味を共通認識しておく</li> <li>復習の活用 単元で学習する知識・技能について問題を作って！と入力し、難易度を自己調整しながら学習する。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>側方倒立回転の技のポイントを質問し、言語化。実際にやってみて、自分たちでオリジナルの技のポイントをまとめる。</li> <li>「台上前転ができない人へどんなアドバイスができるか教えて」と質問、試技者の実際の動きに対し、回答されたものから適していると思われるアドバイスをする。</li> <li>「健康な生活を送るために必要なこと」と入力。回答されたいくつかの項目について、自らの生活状況（環境）を振り返り課題を見付け、改善方法を再度質問（入力） 回答についてその後の生活に活かせるか検討等する 「心の健康」「けがの防止」「病気の予防」等でも</li> </ul>
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミングをしていく際、ChatGPTを活用しながら構文を入力していく。教師の役割としては、誰が見てもわかりやすいか、文が複雑になっていないか、処理の回数が多くてメモリやCPUに負荷がかかっていないか等の視点を与えながら学びを深めていく</li> <li>サラダをつくらう！「サラダのレシピを教えて！」「この中で安くつくれるのはどれ？」</li> </ul>
プログラミング・PBL	<ul style="list-style-type: none"> <li>こんな動きをさせたいんだけど、どんなプログラムを書けばいいかな？ 実際に入力 これを繰り返して自分が表現したい精度を高める。</li> <li>課題解決の手段を問う。「〇〇なゲームを作って が喜ぶようにしたい。プロンプトを教えて」 その通り、または手を加えてゲーム（アプリ）を作成。実行して他者からフィードバックを得る 再度ChatGPTに確認してブラッシュアップする。</li> <li>グループ毎に考えた地域の課題について教師が生成AIに解決策を聞いた上で、その解決策を基に、「この解決策はあくまでも一般的なもので、みんなの住んでいる地域に当てはまるかは分かりません。自分達で地域の情報や課題を調べた上で、このAIが考えた解決策よりもっと良いものにブラッシュアップしてみてください」とグループで作業させる。</li> </ul>
図工・美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>表す方法や描き方が難しいときに活用する。 「花の絵を鑑賞のときの絵のすばらしさを表す言葉を教えて」 「動物の絵を描くときに意識した方がいいポイントを示して」 （昔話の絵を描くのが題材） 恐竜の昔話を描きたい。「有名な恐竜が登場する昔話を教えて」</li> </ul>

# 生成AIを利用した授業等デザインの例について

生成AIの答えを鵜呑みにする、すなわちAIに代替されるような学びをするのではなく、AIの答えをスタートラインとしてより良い解決策を考える、すなわちAIを利用できる資質・能力を育成することを目指すべき。

生成AIを授業で利用することは目的ではなく手段である。このため、「生成AIを使うことによって、他の手段と比較して、児童生徒に身に付けて欲しい資質・能力の向上につながるのか」について、教師自身が内省を繰り返すことが必要。

教科等	具体例
特別支援教育	<p>(自立活動) 自分の気持ちの伝え方など、どのようにコミュニケーションを取ったらよいか、「友達と仲良くするためのコミュニケーションの取り方を教えて」「自分の気持ちが落ち着かない時の方法を教えて」「友達への謝り方」などいくつかの回答を得て、実践する。 実践して、その後上手にいたり、上手にできなかったりするときは、さらにしぼった問を進める。</p> <p>(各教科) 国語の作文の補助や理科の実験や観察のさいの子ども汰からの素朴な「なんで？」を打ち込み、回答を得る。さらに気になった場合は、詳しく聞いていく。</p>
道徳	<p>・導入時には児童生徒に道徳的価値の意味(用語)について問うた後で生成AIにも聞いて確認する。議論が進んだところでは、第三者的な意見として生成AIにも意見を聞く。それを基にさらに議論を進める。 生成AIは未知を問うより、既知について問いファクトチェック的に活用する方がよい。</p>
特別活動	<p>・クラスでこんなことに困っているのだが、議題としていい案はないかな？ その解決策ではどんなことがありそうかな？ 子供たちから出たアイデアとAIが導き出したアイデアについて検討し、クラスの実態に合わせた解決策を話し合っ決めて。</p>
学級経営	<p>・学級内の課題を打ち込んだり、現状よりもよりよい学級を目指していくために、どのような方策が必要かを聞いていく。 (学級の課題) 「給食の準備に時間がかかる」「給食の準備を素早く行う方法を教えて」 (よりよい学級づくりのために) 「仲良くなれる学級のうたの歌詞を教えて」 (行事に向けて) 「大縄跳びを連続で跳ぶための工夫を教えて」 AIから方法をいくつかもらうが、それを鵜呑みにするのではなく、教師(必要であれば子ども)がそれを取捨選択したり、議論したりしていくことが重要。</p>
進路指導	<p>・「埼玉県の高校入試の面接練習をして」 回答しながら、自分の考えを深めたり、回答を推敲する</p>
校外学習	<p>・「校外学習中に滞在先で避難訓練を実施しようと考えているんだけど、マニュアルや計画があったら教えて！」「その中で地震に特化したものを教えて」 勤務校の実態と併せて校外学習中の手引き、計画に役立てる。</p>

# 報告事項

令和 5 年第 8 回教育委員会(定例会)

令和 5 年 8 月 17 日(木)

戸田市役所 3 階 教育委員会室

# 1 報告事項

ページ

学校施設開放事業における小中学校の体育館空調設備の使用について……………	1
(教育総務課)	
戸田市サイエンスフェスティバルについて……………	4
(教育政策室)	
不登校対策に係る動向について……………	8
(教育政策室)	
学校総合体育大会二市大会の結果及び県大会出場種目について……………	12
(教育政策室)	
埼玉大学・戸田市連携講座の開催について……………	13
(生涯学習課)	
公民館講座「シニア向け市民大学コース」について……………	14
(生涯学習課)	
40周年としょかん感謝祭の開催について……………	15
(生涯学習課)	
その他	

教育総務課長 様

文化スポーツ課長

学校施設開放事業における夏季高温時の体育館空調設備の使用について（依頼）

日頃より、学校施設開放事業に御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。  
標記の件につきまして、昨今、気温又は暑さ指数の高い日々が続き、熱中症警戒アラートも連続して発表されるなど、熱中症発生リスクが高い状況が続いております。

学校施設開放事業については、各学校の学校施設開放運営委員会代表者を通じて、各登録団体宛てに、夏季高温時等の熱中症のおそれがある場合における学校施設の使用中止について案内しているところですが、施設使用者から空調設備の使用に係る要望が多く寄せられており、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る観点から、体育館については既設の空調設備を使用可能とし、熱中症対策を実施することで、活動環境の提供をしていきたいと考えております。

つきましては、急な依頼となり大変恐縮ではございますが、学校教育の支障とならない範囲での本事業への協力について、市内小・中学校校長様宛てに依頼文を发出いたしますので、貴職におかれましても、事業実施に御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、今年度につきましては、夏季期間中（8月・9月）を試行運用期間として無償で設備を使用できることとし、来年度から使用料を設定の上、本格運用の実施を予定しております。

#### 記

##### 1 試行運用期間

令和5年8月1日（火）から同年9月30日（土）まで

##### 2 空調設備利用に係るルール

別紙「令和5年8月・9月度における空調設備の使用ルール」のとおり

##### 3 その他

各小・中学校における体育館空調設備の集中管理の設定変更につきまして、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【問合せ】

戸田市文化スポーツ課スポーツ担当

TEL：441-1800

E-mail：bunka-sport@city.toda.saitama.jp

## 令和5年8月・9月度における空調設備の使用ルール

今年度は試行運用となります。学校でも節電に取り組んでおりますので、使用ルールについて、ご理解・ご協力をお願いいたします。なお、来年度から使用料を設定の上、本格運用の実施を検討しております。

- ・「環境省熱中症予防サイト」のさいたま地点（体育館）における「暑さ指数（WBGT）が25度以上と予測された場合」又は「施設使用時間中の気温が28度以上で熱中症の危険性がある場合」に空調設備を使用することができます。

環境省熱中症予防サイト（さいたま地点・体育館）

[https://www.wbgt.env.go.jp/sp/graph\\_ref\\_td.php?region=03&prefecture=43&point=43241&refId=8](https://www.wbgt.env.go.jp/sp/graph_ref_td.php?region=03&prefecture=43&point=43241&refId=8)

- ・学校開放施設使用開始時間から運転してください。

（開始時間前からの運転は行わないでください。）

- ・使用後は、必ず運転停止をお願いします。

（連続して他団体が使用する場合は、次に使用する団体と入れ替わる場合に限り、運転停止操作は不要とします。）

- ・環境に配慮した適切な温度設定でご使用ください。

- ・施設使用開始前から運転が開始していた場合は、文化スポーツ課へご報告ください。

- ・空調設備の使用後は、学校開放日誌の特記事項欄に、次のとおり記載をお願いします。

記載内容：冷房使用（○時○分～○時○分）

※上記使用ルールが守られない場合、当該団体の使用制限を行う場合がございます。

また、空調設備使用の実績報告を超えて使用されていた場合、運用方法の再検討等により、来年度の実施が困難となる場合もございますので、使用ルールを遵守いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

### 【担当】

戸田市文化スポーツ課

スポーツ担当 松本・小山田

TEL : 048-441-1800

E-mail : bunka-sport@city.toda.saitama.jp

戸文ス第504号  
令和5年8月1日

令和5年度学校施設開放運営委員会  
代表者 各位

戸田市文化スポーツ課長

#### 学校施設開放事業における夏季高温時の体育館空調使用について

日頃より、学校施設開放事業に御理解、御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、標記の件について、近頃、気温及び暑さ指数の高い日々が続いており、熱中症患者数も急増しております。

つきましては、来年度から実施予定の学校施設開放事業における体育館空調の有償での使用許可に向けた試行運用として、8月1日（火）から9月30日（土）まで、別紙「令和5年8月・9月度における空調設備の使用ルール」に基づく体育館空調の使用を可能といたします。

つきましては、別紙「令和5年8月・9月度における空調設備の使用ルール」を遵守いただき、適切な御使用をお願いいたします。

また、令和5年度向け学校施設開放運営委員会でもお伝えしておりますとおり、熱中症のおそれがある場合には学校施設の使用中止を御検討いただきますよう、引き続き御理解と御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

#### 【お問合せ】

戸田市文化スポーツ課

スポーツ担当 小山田・松本

TEL : 048-441-1800

E-mail : bunka-sport@city.toda.saitama.jp

戸田市サイエンスフェスティバル2023～子ども大学とだ～について（報告）

芦原小学校において、「戸田市サイエンスフェスティバル2023～子ども大学とだ～」を開催いたしましたので、次の通り報告いたします。

1 実施日時

令和5年7月22日（土） 13：15～16：00

2 参加人数

児童生徒数……220人

保護者・幼児…240人

合計460人（R元年度1156人）








3 講座名及び参加団体









※No. は当日の講座番号 ※★は新規

No.	講座名	団体名
1	電子ほたるをつくろう	travelling museum 博物倶楽部
2	色の正体を突き止めよう！色の不思議を学ぶサイエンス実験教室	★サーモフィッシャーサイエンティフィックジャパングループ
3	燃料電池ってなんだろう？	東京ガスネットワーク(株)埼玉支社
4	スマホで「戸田の植物図鑑」できちゃいます	グリーンガーディアンズ
5	電気を通すものと通しにくいものとは？	★東京理科大学
6	プログラミングで宇宙エレベーターを動かしてみよう	株式会社ナリカ
7	自分のDNAをみてみよう	日本薬科大学
8	謎解きプログラミング！	エルプレイス
9	360度カメラであそぼう！	★株式会社リコー
10	飛ぶタネの模型づくり	彩湖自然学習センター
11	プログラミング『ビスケット』を使って自分で描いた絵を動かして遊ぼう	Code for TODA
12	わくわく 科学工作	戸田市理科教育研究部
13	理科自由研究相談会	戸田市理科教育研究部
14	ミクロの世界をのぞこう ～顕微鏡を使った観察～	戸田市理科ボランティア
15	おもしろ理科体験	株式会社ケニス 戸田市理科ボランティア



#### 4 各講座の様子

<p>1 「電子ほたるをつくろう」 【travelling museum 博物倶楽部】</p> <p>◆自己点滅型LEDとボタン電池を使用して、光が点滅するほたるのおもちゃを作りました。</p>	
<p>2 「色の正体を突き止めよう！色の不思議を学ぶサイエンス実験教室」 【サーモフィッシャーサイエンティフィックジャパングループ】</p> <p>◆色素が毛細管現象により分離される様子からイメージを膨らませて、作品づくりをしました。</p>	
<p>3 「燃料電池ってなんだろう？」 【東京ガスネットワーク(株)埼玉支社】</p> <p>◆電気を作る仕組みを理解し、水素と酸素から電気をつくり、地球温暖化を防ぐために自分ができることを考えました。</p>	
<p>4 「スマホで『戸田の植物図鑑』できちゃいます」 【グリーンガーディアンズ】</p> <p>◆戸田市内の植物を通して、植物の多様性、夏の植物の特徴などを学び、気に入った植物を観察し、スケッチしました。</p>	
<p>5 「電気を通すものと通しにくいものとは？」 【東京理科大学】</p> <p>◆電気を通しやすいもの、通しにくいものなどの電気の性質について、身の回りのものを使って、実験をしました。</p>	
<p>6 「プログラミングで宇宙エレベーターを動かしてみよう」 【株式会社ナリカ】</p> <p>◆LEGOブロックを使って作った「宇宙エレベーター」を仲間と協力してプログラムを組んで動かしました。</p>	
<p>7 「自分のDNAをみてみよう」 【日本薬科大学】</p> <p>◆ヒトのDNAとして、自分自身のDNAを頬から取り出しました。</p>	

<p>8 「謎解きプログラミング！」</p> <p style="text-align: right;">【エルプレイス】</p> <p>◆プログラミングロボットの様々なセンサーを使って謎解きゲームに挑戦しました。</p>	
<p>9 「360度カメラであそぼう！」</p> <p style="text-align: right;">【株式会社リコー】</p> <p>◆デジタルカメラの基本的な仕組みを学び、レンズ体験、360度カメラで全天球写真を撮影したり、タブレットで動かしたりしました。</p>	
<p>10 「飛ぶタネの模型づくり」</p> <p style="text-align: right;">【彩湖自然学習センター】</p> <p>◆不思議な飛ぶタネの模型を作り、実際に飛ばしてみたり、昆虫やザリガニ、おもしろい植物のタネなどの生き物を観察したりしました。</p>	
<p>11 「プログラミング『ビスケット』を使って自分で描いた絵を動かして遊ぼう」</p> <p style="text-align: right;">【Code for TODA】</p> <p>◆「ビスケット」を使い、タブレットで絵を描いて、その絵を並べるだけの簡単な操作で、楽しくプログラミング体験をしました。</p>	
<p>12 「わくわく 科学工作」</p> <p style="text-align: right;">【戸田市理科教育研究部】</p> <p>◆洗濯のりとホウ砂、絵の具を混ぜてカラフルなスライムを作りました。</p>	
<p>13 「理科自由研究相談会」</p> <p style="text-align: right;">【戸田市理科教育研究部】</p> <p>◆自由研究の進め方について理科の先生からアドバイスをもらいました。</p>	
<p>14 「ミクロの世界をのぞこう～顕微鏡を使った観察～」</p> <p style="text-align: right;">【戸田市理科ボランティア】</p> <p>◆小さな生き物の様子、普段見ることのできないミクロの世界を観察しました。</p>	
<p>15 「おもしろ理科体験」</p> <p style="text-align: right;">【株式会社ケニス・戸田市理科ボランティア】</p> <p>◆手回し発電器で電気自動車を動かしたり、フィンガーストーンや紫外線ビーズを使ったミサンガを作ったりしました。</p>	

## 5 参加スタッフ

戸田市教育委員会	3名	戸田市理科教育研究部会	10名
運営協力教員（ボランティア）	13名	戸田市理科支援員	10名
		計	36名（R元年度52名）

## 6 成果と課題

### 【成果】

- ・令和元年度以来、4年ぶりの会場校開催ではあったが、児童生徒220名、保護者等240名、計460名の参加があり、多くの児童生徒（保護者含む）に理科の楽しさや不思議さを伝える機会となった。
- ・4年ぶりの開催かつ運営側も新規のスタッフが多かったため、安全に運営する上ではちょうどよい参加人数であった。
- ・戸田市教育委員会が進めている「産官学との連携」をさらに進め、多方面の企業、大学関係者、NPO等に継続して出展していただいた。また、新規のブースも設け、形骸化せず行うことができた。出展講座の講師からは、「子供たちの意欲が高く、戸田の学校の日々の指導を感じることができた。」「出展した側としてもやりがいがあった。」との声が多く聞かれた。
- ・子供たちからは、「とても面白かった。来年も参加して、違う講座をやってみたい。」など、とても楽しんで参加している様子が見えた。
- ・アリーナを含む全会場で冷房を使用することができたため、熱中症で体調を崩す者はいなかった。けが等での対応もなかった。
- ・整理券配布については、時間を区切って行ったため、途中から入場した子供も、講座に参加することができていた。

### 【課題】

- ・今回は低学年とその保護者の参加が多く、高学年の参加者が少なかった。その要因の一つとして過去3年間の会場校開催がなかったことが考えられる。来年度は、今年度の参加者がリピーターとして参加し、参加者が増えることが予想される。円滑に運営するためには、運営スタッフの増員が必要であると考える。そのため、早い段階からの募集を行う。
- ・中学校の全生徒にも案内を周知しているが、中学生の参加数が少ない状況（R5年度5名）なので、中学生向けの講座について検討していきたい。

不登校対策に係る動向について  
(戸田型オルタナティブ・プランに関する令和4年度の状況と令和5年度の取組等について)

1 多様な学びの場の拡充

(1) ぱれっとルームについて

①令和4年度の状況

- ・11月より全小学校に設置

【利用状況】総計101名が活用（R5. 2時点）

②令和5年度の利用状況について

※7月実施の「ぱれっとルーム児童アンケート」に回答があった人数

	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
1	戸田第一小学校		1		1		2	4
2	戸田第二小学校	1	2	1	1	3	5	13
3	新曽小学校		2	1	1	3		7
4	美谷本小学校						1	1
5	笹目小学校					2	2	4
6	戸田東小学校				2	2	5	9
7	戸田南小学校				1	2		3
8	喜沢小学校	1	1	1	2	3		8
9	笹目東小学校		3	1	2	1	1	8
10	新曽北小学校					3	3	6
11	美女木小学校		2		3	2	1	8
12	芦原小学校		1	1			7	9
	合計	2	12	5	13	21	27	80

(2) さわやか相談室について

相談室登校をしている生徒数（令和5年度1学期の状況）

	学校名	1年	2年	3年	合計
1	戸田中学校	1	2	6	9
2	戸田東中学校	1	2	3	6
3	美笹中学校	1	6	3	10
4	喜沢中学校	2	0	4	6
5	新曽中学校	0	2	2	4
6	笹目中学校	2	0	8	10
	合計	7	12	26	45

(3) 不登校生徒支援教室「いっぽ」について

①令和4年度の状況

- ・埼玉県教育委員会と戸田市教育委員会で連携協定を締結し、5月から教育相談加えて9月より学習支援も実施。

【利用状況】10名登録（定員：10名）

②令和5年度について

- ・5名登録（R5. 7現在）
- ・「いっぽ」の説明会を実施予定（令和5年9月23日（土）開催予定）

(4) シェア型オンライン教育支援センター「room-k」について

①令和4年度の状況

- ・認定NPO法人カタリバと戸田市教育委員会で連携を締結し、10月より本格的に利用開始。

【利用状況】7名登録

②令和5年度について

- ・10名登録（R5.7現在） 【小学校】3名 【中学校】7名
- (5) 教育支援センター「すてっぷ」

①令和4年度の状況

- ・利用児童生徒数が増加

【利用状況】41名（R4.12）※31名（R3.12）

②令和5年度について

- ・42名利用（R5.7現在）

- ・令和5年8月25日より教育支援センター「西すてっぷ」を開設

（戸教政第1252号教育支援センター「西すてっぷ」の活用について（依頼）参照

2 「ばれっとラボ」による分析

(1) 外部研究員について

本市の不登校の予兆発見及び早期対応に係る調査、研究、分析、支援等、不登校対策支援に関する総合的な調査研究等を行うため、外部研究員を委嘱し、「ばれっとラボ」を発足した。

【令和5年度外部研究員】

	所属・役職	氏名
1	北海道大学教育学研究院 准教授	加藤 弘通 氏
2	秋田大学教育文化学部 地域文化学科 地域社会・心理実践講座 講師	侯 玥江 (ホウエジヤン) 氏
3	北翔大学短期大学部 こども学科 講師	梅村 拓未 氏
4	スタンドバイ株式会社 代表取締役 千葉大学教育学部附属教員養成開発センター 特別研究員	谷山大三郎 氏
5	日本薬科大学 特任教授	馬場 久志 氏
6	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授	東 宏行 氏
7	椋山女学園大学人間関係学部 心理学科 助教	村井 史香 氏
8	北海道大学院教育学院 博士後期課程	佐藤 奈月 氏

(2) 主な分析結果

※「ばれっとルーム」モデル校3校（新曽・笹目・美女木）実施アンケート結果より

①児童アンケート

【ばれっとルームが楽しい、やや楽しいと答えた児童の割合】

91% (n=23)

②教職員アンケート

【ばれっとルーム設置によって肯定的な変化があった教職員の割合】

83% (n=59)

③保護者アンケート

【ばれっとルームの設置によって子供に変化があったと感じた保護者の割合】

80% (n=15)

【ばれっとルームの設置によってストレスが減ったと回答した保護者の割合】

とても当てはまる：27% 当てはまる：47% (n=15)

(3) 令和5年度の取組について

- ①各校で回答した「ばれっとルーム」利用児童のアンケート結果分析

- ②「ばれっとルーム」利用児童の保護者を対象にしたアンケート結果分析（12月実施）

- ③「ばれっとルーム」モデル校3校の教職員アンケート結果分析

- ④戸田市総合的な不登校対策会議にて講演

【第2回 講師：ぱれっとラボ外部研究員 馬場 久志 氏】  
3 シンポジウムの開催について

(1) 令和4年度の状況

- ・戸田市不登校について考える会～一人ひとりを大切に～開催

【講師】認定NPO法人カタリバ代表理事 今村 久美 氏

【参加者】114名

〈アンケート結果〉

講演：とてもよかった + よかった = 100%

シンポジウム：とてもよかった + よかった = 100%

個別相談ブース：16団体参加

(2) 令和5年度戸田市不登校について考える会～一人ひとりを大切に～について

【開催日】令和5年9月9日（土） 開会：10：00（受付9：40）

【会場】戸田市文化会館3階 301会議室

【内容】①基調講演

演題：「不登校の子が新しい一歩を踏む出す時」

講師：NPO法人全国不登校新聞社 代表理事 石井 志昂 氏

②シンポジウム

コーディネーター：学研エル・スタッフィング（「すてっぷ」運営）

③個別相談会

フリースクールやサポート校など、学びの選択肢について個別相談ブースで相談が可能

# 戸田市 不登校について考える会 ～一人ひとりを大切に～

令和5年

9月9日 土

開会10:00 (受付9:40)  
戸田市文化会館3階 会議室301

申し込みフォーム  
(QRコード)



申し込み  
締め切り  
9月4日

<URL>  
<https://forms.gle/jrw8nBgZrr7JTMQV9>

## タイムスケジュール

10:05～11:05 基調講演  
「不登校の子が新しい一歩を踏み出す時」  
講師：NPO法人全国不登校新聞社  
代表理事 石井 志昂 様



11:15～12:00 シンポジウム  
コーディネート：学研エル・スタッフィング  
※戸田市教育支援センター「すてっぷ」運営

12:00～13:00 個別相談会 (文化会館・教育センター)  
フリースクールやサポートルームなど、学びの選択肢について相談  
することができます。(1組10分程度)

お問い合わせ 戸田市立教育センター  
☎ 048-434-5660

戸田市教育委員会主催

令和5年度 学校総合体育大会二市大会の結果（戸田市）

学校名 種目	結 果 ●・・・県大会出場 ◎・・・県南大会出場					
	戸田中	戸田東中	美笹中	喜沢中	新曾中	笹目中
陸上	●共通男子400m 2位 ●共通女子200m 2位 ●共通女子100mH 1位 ●共通女子1500m 1位 ●共通女子走高跳 1位	●3年男子走幅跳 1位 ●共通女子200m 1位		●2年女子100m 1位	●1年男子100m 1位 ●1年男子100m 2位 ●3年男子100m 1位 ●共通男子400m 1位 ●共通男子800m 1位 ●共通男子1500m 1位 ●共通男子1500m 2位 ●共通男子3000m 1位 ●共通男子3000m 2位 ●共通男子110mH 1位 ●男子4×100mR 1位 ●1年女子100m 1位 ●3年女子100m 1位 ●共通女子800m 1位 ●共通女子100mH 2位 ●共通女子走幅跳 2位 ●女子4×100mR 1位	●2年男子100m 1位 ●共通男子砲丸投げ 1位 ●共通女子砲丸投げ 1位
野 球						
サッカー					●男子 2位	
ソフトボール				◎3位		●2位
バスケットボール					●男子 1位	
バレーボール	◎男子 1位 ◎女子 2位			●女子 1位	◎男子 2位	
ソフトテニス				◎女子D 2位	●男子団体 1位 ●男子D 1位 ●男子D 2位 ●男子D 3位	◎男子団体 3位 ●男子D 4位 ◎男子D 7位 ●女子団体 1位 ◎女子D 1位 ◎女子D 3位 ◎●女子D 4位
卓 球	◎男子団体 3位 ◎女子D 3位			◎男子S 3位	●男子団体 1位 ◎男子S 2位 ●男子D 1位 ●男子D 3位 ●女子団体 1位 ◎女子S 2位 ●女子D 1位 ◎女子D 3位	◎男子D 2位
剣 道	◎男子個人 5位	◎男子個人 6位 ◎女子個人 3位		◎女子団体 1位 ●女子個人 1位 ●女子個人 2位 ◎女子個人 6位 ●男子個人 2位	◎男子団体 2位 ●男子個人 1位 ◎男子個人 3位 ◎女子団体 2位	●女子個人 5位
バドミントン	◎男子S 1位 ●男子D 1位	◎男子S 3位 ◎男子D 2位 ◎男子D 3位 ◎男子D 4位 ●女子団体 1位 ●女子S 1位 ◎女子S 2位 ◎女子S 3位 ◎女子D 1位 ◎女子D 5位			◎女子D 3位	
水 泳	●女子400m自由形 2位		●男子自由形200m 1位 ●男子自由形400m 1位	●女子200mバタフライ 1位 ●女子100mバタフライ 1位	●男子100m背泳ぎ 1位 ●男子100mバタフライ 1位 ●男子200mバタフライ 1位 ●男子4×100mメドレーR 2位 ●男子200m個人メドレー 2位 ●女子50m自由形 1位 ●女子50m自由形 2位 ●女子50m自由形 3位 ●女子100m自由形 1位 ●女子100m自由形 2位 ●女子4×100mR 1位 ●女子4×100mメドレーR 1位 ●女子100m平泳ぎ 2位	●男子100m平泳ぎ 1位 ●男子100m平泳ぎ 2位 ●男子200m平泳ぎ 1位 ●男子200m平泳ぎ 2位 ●女子100mバタフライ 2位
柔 道					●女子57kg級 1位	●男子 1位
体操					●女子団体 1位 ●女子個人 1位 ●女子個人 4位 ●女子個人 5位 ●女子個人 6位 ●女子個人 8位	
硬式テニス		●男子S 3位			●男子Sベスト 8	●女子S 3位 ●女子D 1位
ボート	全国大会					



# 埼玉大学・戸田市連携講座

## 埼玉大学の研究を 共に学ぼう！



埼玉大学の最新の講義が、戸田市で学べる！

Youtube配信で、ご自宅でも受講ができる講座もあります。



9月5日(火) 午後2時～3時30分  
日本のロボット研究・開発・活用の歩み

理工学研究科 准教授 琴坂 信哉 氏

近年ロボットは、産業分野だけではなく、レストランでの配膳作業などのサービス分野でも活用されるようになってきている。これらロボットの研究・開発の歴史を知ることによって、未来のロボット活用を学ぶ。  
※会場のみ（配信なし）

9月15日(金) 午後2時～3時30分  
生物多様性とサクラ草

教育学部 准教授 荒木 祐二 氏

生物多様性とは、遺伝子の多様性、種の多様性、生態系の多様性を包括した生き物の捉え方のこと。荒川河畔に生育する絶滅危惧植物のサクラソウを例にしながら、生き物の多様性について考える。  
※会場で講座開催後、Youtube配信あり

9月11日(月) 午後2時～3時30分  
植物に含まれる多彩な多糖類

理工学研究科 教授 小竹 敬久 氏

ブドウ糖、ショ糖、果糖、麦芽糖、乳糖と「糖」には様々なものがありますが、実は私たちはこれらとは別の「糖」も食べています。この講義では植物に含まれる様々な多糖やそれらのはたらきについて講演する。  
※会場のみ（配信なし）

9月27日(水) 午後2時～3時30分  
憲法のこれから—憲法改正を論じる前に  
知っておきたいこと—

人文社会科学部 教授 川又 伸彦 氏

喜寿を迎える日本国憲法をめぐって、改正を求める声は絶えず聞こえる。これからの日本は、憲法改正問題とどう向き合うべきか。政治論ではなく、法理論として、「憲法を改正すること」を考える。  
※会場で講座開催後、Youtube配信あり

会場：戸田市役所5階大会議室 対象：市内在住・在勤・在学者

受講方法：①会場70名

②オンデマンド受講

※期間限定、申込者限定公開

※申込の際は、右の二次元コードを读取り、



または下記のURLをクリックして下さい。

申込フォームURL：<https://www.city.toda.saitama.jp/ques/questionnaire.php?openid=807>

【問合せ】戸田市教育委員会生涯学習課  
(戸田市民大学事務局)

電話 048-441-1800 (内線308・342)

FAX 048-432-9910

メール [simin-daigaku@city.toda.saitama.jp](mailto:simin-daigaku@city.toda.saitama.jp)

# 【目標】学びと人と地域活動をつなげ、共に学び、支え合う仕組みづくり

## 取組

### 活動や地域へとつなげる 公民館講座

#### シニア向け市民大学の特色

#### 1 人生100年時代の「学び直し」を応援！

これからの地域でのくらしに必要なとされるテーマに関するコースや、いつまでも元気に活躍できるように健康づくりを意識したコースを設け、生涯現役で活躍しようとするシニアの皆さんの「学び直し」を応援します。

#### 2 共に学ぶ仲間とのつながりづくり

各コース約4回の連続講座で構成しています。同じ目標に向かい仲間とともに学びあうことで、仲間づくり・つながりづくりのきっかけにもなります。

#### 3 学びを通じた地域とのつながりづくり

各コースの講座を終えた後も、地域の中でさらにその学びを深め、活躍していけるような講座構成となっています。市内で学びを継続できるような情報提供や活動の場を紹介します。さらに、地域人材を講師とした講座などを予定しています。

#### 4 各コースの修了後には・・・

修了証を発行します！ 館外学習に参加できます！  
バスに乗って市外の施設等の見学に行く館外学習を実施します。各コース修了者との交流を図ります。

## ＼戸田市民大学 / 人生100年時代のシニア活躍を応援するコース

これまで各公民館で実施していたシルバー講座（寿大学、宝珠大学、壮健大学）を、50歳以上の方を対象にしたシニアの学びの場としてリニューアルしました。

### 令和5年度のコース（講座）予定

各コース定員  
15名（予定）

国際理解コース	会場：新曽キャンパス（新曽公民館）	開催：9/2、9/9、9/23、9/30（全4回）
テーマ	世界を知って多文化共生のまちづくり ～中国編～	
講座の概要	講義や体験、交流をつうじて、日本と中国の相互の違いや良さを理解する。	
内容（予定）	第1回：戸田市の国際交流事業と多文化共生（講義：明治大学兼任講師 小山氏） 第2回：日本とは違う？中国の文化や言語、生活（講義） 第3回：太極拳体験（講義、実践） 第4回：中国料理を作る・食べる（実習） 第2～4回の講義は中国出身の方が講師。戸田市国際交流協会と連携開催	
健康増進コース	会場：下戸田キャンパス（下戸田公民館）	開催：1月頃
テーマ	効果的な体の動かし方を知ろう！NHKテレビ体操講師による本気の体操講座	
講座の概要	体操のプロから効果的に体を動かすコツを教わり、本気でラジオ体操を行います。	
内容（予定）	第1回：健康と運動のつながり、簡単なストレッチの体験（講義、実践） 福祉保健センターと連携 第2回～第4回：効果的なラジオ体操やストレッチのコツ（実践）	
健康増進コース	会場：美笹キャンパス（美笹公民館）	開催：9/13、9/30、10/7、10/14（全4回）
テーマ	「正しい歩き方」で地域をめぐる 健康まち歩き講座 ～美笹地区編～	
講座の概要	「正しい歩き方」を学び、美笹地区のまち歩きをする。	
内容（予定）	第1回：「歩いて健康になろう！」健康と運動のつながりについて学ぶ（講義） 福祉保健センターと連携 第2回：「正しい歩き方」を知ろう！姿勢、歩幅、手の振りなどを学ぶ（講義・実習） 第3回：正しい歩き方で市内ウォーキングコースを歩こう（実践1） 第4回：正しい歩き方で文化財めぐりウォーキング！（実践2）	

# 40周年としょかん感謝祭の開催について(11/3~11/5)

	11/3 金・祝	11/4 土	11/5 日
<b>主な イベント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープニングコンサート (とだ市民吹奏楽団)</li> <li>・ 彩湖自然学習センター 工作会 「落ち葉の壁掛け作り」 </li> <li>・ 英語おはなし会 「えいごでたのしむ マザーグース」 </li> <li>・ 図書館40周年記念 おはなし会スペシャル 人形劇 </li> <li>・ あんびるやすこ先生 トークショー/サイン会 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館と戸田の歴史 映画会 </li> <li>・ マルチメディアダイジー 体験会 </li> <li>・ バリアフリー映画会 「武士の家計簿」 森田芳光監督 堺雅人主演 </li> <li>・ 市民大学講座 郷土資料活用講座 </li> <li>・ ぐりとぐらのぼうしを 作ろう ~「ぐりとぐら」 誕生60周年~ </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「世界最古の地球儀を作っちゃおう！」 </li> <li>・ レファレンス講座 「ひゃっか王からの挑戦状」 </li> <li>・ ボランティアおはなし会 スペシャル 「古民家おはなし会」 </li> <li>・ 「図書館でプログラミングワークショップ」 </li> </ul>
<b>3日間 共通</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロビー工作会 (11/3 彩湖自然学習センター工作会、11/4 「ぐりとぐら」ぬりえ、11/5 「みみちゃん」ぬりえ)</li> <li>・ 文字さがしラリー</li> <li>・ 新曾北小学校の児童の作品展示</li> <li>・ 調べる学習 入賞作品展示</li> </ul>		